

第2期地下水と土を育む農業の推進に関する計画（概要版）



はじめに ・地下水と土を育む農業の趣旨 ・条例の基本理念

第1期地下水と土を育む農業の推進に関する計画の成果

- ・理解が浸透（県民会議、認証制度創設）
- ・グリーン農業取組みが増加（グリーン農業の生産・応援の拡大）
- ・堆肥利用が拡大（良質堆肥生産及び広域流通）
- ・湛水取組みが拡大（新規需要米の増加、湛水拡大）
- ・新技術の開発及び普及（技術開発、研究、展示ほ）

第1章 計画の目標

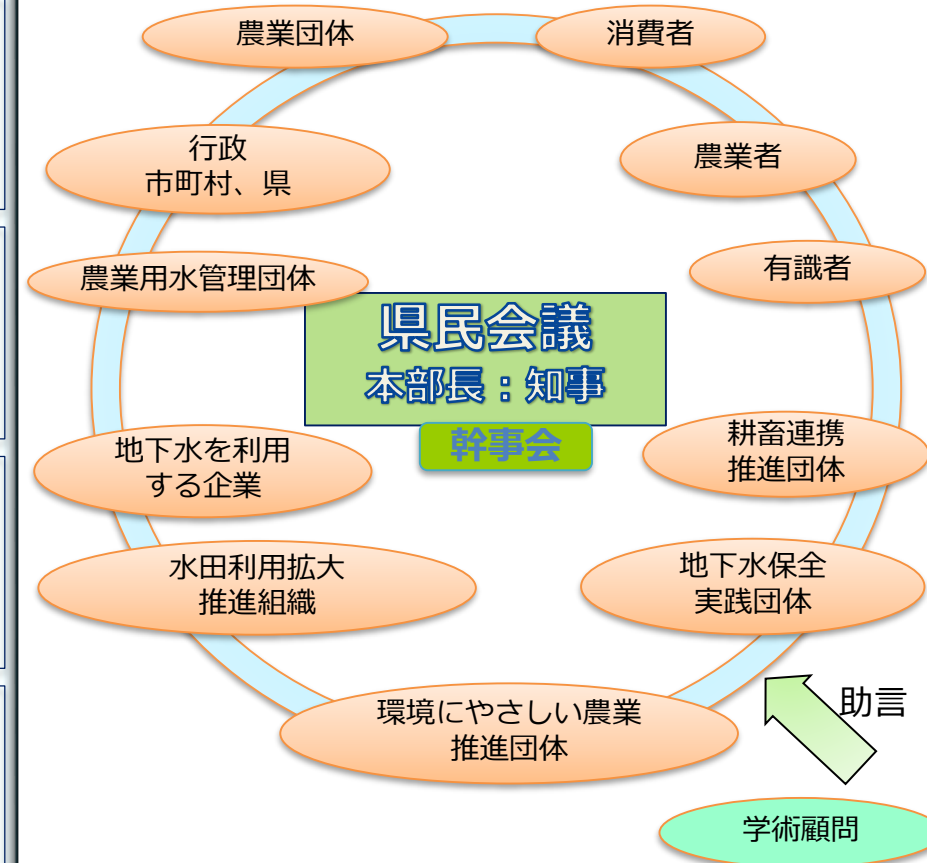
- ・県民理解の深化 ・県民理解の促進・子供たちへの教育推進 ・取組みの見える化
- ・地下水と土を育む農業の充実及び高度化 ・グリーン農業の高度化・良質な堆肥生産と耕畜連携・水田の有効活用・水田湛水への取組み
- ・地下水と土を育む農業を支える仕組みの強化 ・販売購入機会の拡大・調査研究及び技術普及・地下水と土を育む農業参加の促進

第2章 施策の展開

赤字：新規の取組み及び目標指数

5本の推進施策	具体的取組	目標指数
I 県民運動の展開	1 県民会議による県民運動の展開 2 広い世代への理解促進 3 販売・購入機会の拡大	・県民会議の開催 ・ 学習者数 35,000人/年 ・販売店舗数 200店舗
II グリーン農業の推進	1 グリーン農業の生産拡大 2 グリーン農業の高度化 3 グリーン農業の取組みの見える化	・ 生産宣言者割合 70% ・ 土壌分析 13,000件/年 ・ 高度取組割合 20% ・ 化学肥料・農薬削減 20%
III 良質な堆肥生産と流通	1 良質な堆肥の生産推進 2 堆肥の広域流通の推進	・ たい肥の達人認定者数 30人 ・堆肥の広域流通量 92,000t
IV 水田湛水の推進	1 水稻の作付拡大 2 白川中流域における水田湛水の拡大 3 かん養効果の高い地域における水田湛水の拡大	・ 主食用米と新規需要米の作付面積 42,600ha ・ 白川中流域水田かん養量 2,100万m³ ・ 台地部等水田かん養量 570万m³
V 試験研究及び技術の普及	1 地下水と土を育む農業を支える試験研究 2 地下水と土を育む農業を支える技術の普及	・技術開発数 10件/年 ・ 技術展示ほ数11件/年

第3章 推進体制



様々な個人・団体が、様々な立場で、
県民一体となって取り組む